

# 令和元年度学校評価報告書

北海道旭川西高等学校

## 1 本年度の重点目標

- (1) 授業改善や探究活動等の充実を図ると共に、組織的な指導によって学力を高める。  
 (2) 自らの生き方を考え、進路を選択できる力や態度を育む。  
 (3) 生徒の主体的な活動の充実を図り、望ましい人間関係を形成できる生徒を育てる。  
 (4) 安全で安心できる活動を通して、体力の向上を図る。

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

| 評価項目         | 自己評価の結果  | 学校関係者評価の結果   |
|--------------|--|--|
| 教育目標<br>経営方針 | 学校教育目標等に根差した教育活動が行われていると肯定的に回答した教員の割合は約9割で昨年とほぼ同じであった。学校評価の活用をするため、その方法を改善してきたが、課題の共有化や解決に向けた具体的な方策の明示など、十分な活用までには至らなかった。  | 「目標とする生徒像」及び「めざす学校像」等について、目標に沿った教育活動が行われていると肯定的に捉える回答が多く見られ、高い評価が得られた。特に、幅広い視点に立って取り組んでいる探究活動に高評価をいただいた。           |
| 改善方策         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「重点目標」に沿った指導上の重点事項の実施状況が検証できるよう、評価の観点をより明確化する。</li> <li>○目標設定から実施計画の作成についても見直しを図るなど、PDCAサイクルのチェック体制を機能させ、学校評価を活用することで、職員間の課題の共有化と課題の解決に向けた具体的な方策が明示できるよう一層の改善に努める。</li> <li>○学校課題を踏まえた実効的な校内研修テーマを設定し、組織的に解決を図るための研修を計画的に実施する。また、教員一人一人が経験年数や校内での役割（立場）等に応じた自己課題に基づく研修を促す。</li> </ul>  |  |
| 学習指導         | 自己評価アンケートにおいて、公開授業等を活用した教員相互の授業評価や観点別評価などの項目が前年度より約10%上昇したが、授業評価を活用して、授業改善に積極的に取り組までは至らなかった。教員個々だけではなく、教科内において指導の統一を図るなど、全校的な体制を整え、計画的に指導にあたっていく。  | 肯定的な回答が前年度より約8%低くなった。生徒の進路目標の早期確立だけではなく、生徒の主体性等を高める授業改善に一層取り組むことが求められている。また、Wi-Fi整備など、学習環境の改善や、進学対策の向上を求める意見も見られた。 |
| 改善方策         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和2年度から55分授業を実施するとともに、令和3年度からの間口減に向けた教育課程を実施する。また、令和4年度からの新学習指導要領を見据えた教育課程の編成を早期に行う。</li> <li>○シラバスを効果的に活用するために、生徒への提示方法を工夫する。</li> <li>○生徒に、主体的、対話的な学習に取り組ませるため、アクティブ・ラーニング型授業の実践を行うなどの授業改善を図る。</li> <li>○教科横断的な視点から探究活動の充実を図ることで、各教科・科目における授業改善につなげていく。</li> <li>○授業改善に向けた教員個々の実践を教科間で共有するとともに、学習評価に関する研修を計画的に実施して、指導力向上を図ることで生徒の成長につなげていく。</li> </ul> |  |

|      |  |   |
|------|--|---|
| 進路指導 | <p>肯定的な回答が前年度より若干下がっている。新テスト（大学共通テスト）や模試の結果分析など、情報提供を求める意見が多くみられた。</p> <p>また、調査書など受験に係る書類作成について計画性や点検体制が不十分であったことから、次年度は早期の改善を図っていく。</p>   | <p>肯定的な意見が多い一方で、地域と連携した校外活動の充実など、生徒が多様な視点で進路を考える機会を増やして欲しいという意見があった。</p> <p>また、次年度からはじまる新テストについて、進路説明会等を利用して情報提供に努めた。</p> |
| 改善方策 | <p>○進路シラバスの改善を継続し、将来を見通したキャリア形成の実現を目指す。</p> <p>○キャリア教育に関するウェブページの充実を図り、生徒のみならず保護者も交えた進路意識の涵養を図る。地域の人材を活用したキャリア教育の充実など、地域との連携強化に向けて検討を進める。</p> <p>○生徒の学習状況や模擬試験等の分析を進め、課題を明確化しながら改善に努めていく。</p> <p>○調査書等の書類作成など、新入試に向けた体制を改善するとともに、生徒や保護者に向けた情報提供を継続して行っていく。</p> |   |
| 生徒指導 | <p>生徒の主体性を高める取組（行事等）について、改善を求める意見があった。</p> <p>また、SNS利用における定期的な指導、いじめの早期発見への取組については、ライフサポートグループ及び学年団を中心に適切に行うことができたと考える。</p>  | <p>学校評価アンケートでは、9割以上の方が肯定的な回答をしており、評価が高い。生徒の明るく礼儀正しい態度に感心する声が聞かれるなど、良好と考えている。今後も、指導を継続していきたい。</p>                          |
| 改善方策 | <p>○ネットトラブルの防止については、入学後の早い時期に全体指導を行うとともに、定期的なネットパトロールにより、書き込み等のあった当該生徒へ指導することで事故防止に努めている。</p> <p>○いじめアンケートの活用や、HR担任による日常的な面談指導を通じた取組を継続する。</p>   |   |
| 健康安全 | <p>多様化する生徒へのきめ細やかな対応について、ライフサポートグループ生徒支援チームと学年団が、スクールカウンセラー、専門機関との密な連携を図り、個別に対応する支援計画を作成するなど、きめ細やかな支援体制を確立して実践することができた。</p> <p>危機管理については、全校的なメール配信システムを導入し、生徒・家庭との確実な連絡手段の確保に努めた。次年度は防災など危機に対する一層の意識向上を図るため、避難訓練の改善を図る。</p>                                    | <p>メール配信システム導入後は、連絡体制がほぼ確立された。今後は、家庭との連絡手段の一つとして、様々な場面での具体的な活用方策について検討していく。</p>   |
| 改善方策 | <p>○多様化する生徒への支援について、現在の組織体制を維持するとともに、担当者だけでなく、幅広く教職員の協力を促す。</p> <p>○生命の尊重や健康安全に対する意識を高めるための指導を継続するとともに、実効性のある避難訓練の実施など危機管理意識が向上できる取組を引き続き推進する。</p> <p>○自転車や歩行者マナー等に関する指導について、警察等とも連携するとともに日常的な啓発を行う。</p>   |   |

|           |   |   |
|-----------|---|---|
| 理数教育      | <p>SSH事業について教職員の多くが肯定的な回答をしている。1月末に旭川市長と対話集会を実施するなど、三期目に向けて事業の見直しや改善を図った。今後も事業内容について、全体で共有化を図るとともに、地域にも活動内容の周知を図りながら事業の発展に繋げていく。</p>  | <p>学校評価アンケートでは、多くの方が高い評価をしている。SSH発表会における報告者の態度だけでなく、聞く生徒の態度も立派であると高い評価を得ている。報告内容も年々深化していることから、SSH事業について積極的に情報発信を行うなど、中学生や地域の方々への周知と理解に繋げていく。</p>    |
| 改善方策      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○SSH事業について、ウェブページでの情報発信に努めるとともに、課題研究発表会やSSH講演会等を地域へ公開する。</li> <li>○SSH事業が全校的な取組となるよう、業務内容の分担について改善を図る。</li> <li>○SSH事業の探究活動を推進するために、教職員の役割を見直す。</li> <li>○SSH事業を通して育成する力について、達成度を評価する方法を検討する。</li> <li>○三期目に向けて、旭川市や教育大旭川校と一層の連携を図り、計画的に事業を進めていく。</li> </ul> |   |
| 開かれた学校づくり | <p>オープンスクールや中学校への学校訪問等を活用して本校の教育活動の周知と理解の深化に努めたその一方で、本校を志望しながら受検を辞退する中学生も多いことから、本校の特色について改めて周知と理解を図る。</p> <p>令和3年度からは普通科が一問口減となるため、入学者選抜について検証する。</p>   | <p>学校評価アンケートにおいては、全体的に評価は高いが、学校からの情報提供を積極的に求める意見や地域との連携など、改善を望む声が聞かれた。保護者とのコミュニケーションを大切にしながらPTA活動の一層の充実を図るだけでなく、本校の教育活動の理解を深めるための方策についても検討していく。</p> |
| 改善方策      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○本校ホームページの速やかな更新を継続し、保護者や地域に向けた有益な情報が提供できるよう改善を図っていく。</li> <li>○PTAとの連携を密にし、地域と連携した教育活動の充実について検討する。</li> <li>○オープンスクールや中学校への学校訪問の際の説明内容を検証し、本校の教育活動の周知と理解を深めていく。</li> <li>○入学者選抜について検証し、選抜方法の改善を図る。</li> </ul>   |   |
| 公表方法      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員会、PTAの役員会等での公表及び本校ウェブページでの公開。</li> </ul>   |   |